



医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。

平成29年度 第1回 川薩地区在宅医療推進リーダー会議(6/6)



委員23名にご出席頂き川内市医師会訪問看護ステーション会議室にて開催されました。川内市医師会在宅医療支援センター、薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターの活動や医療介護資源ガイドの活用状況について報告致しました。また、鹿児島県地域医療構想の説明を川薩保健

平成29年度



平成29年度 第2回 多職種研修会(6/13)



平成29年度第1回事例検討会は、介護支援専門員協議会に担当して頂き、市比野記念病院の田代さんにより「がん患者さまの在宅での看取り～2号被保険者のサポート～」のテーマで事例報告をして頂きました。薩摩川内市、いちき串木野市両市の多職種による支援チームとの橋渡しをされ、患者さまの思いを大切にされた事例でした。36名の方にご参加頂きました。



平成29年度第2回多職種研修会が薩摩郡医師会病院会議室に於いて開催されました。第1部は「終の棲家と高齢者救急」と題し、薩摩郡医師会救急医療担当理事の益崎隆雄先生にご講演頂きました。第2部は「さつま町の救急の現状」と題し、さつま町消防本部救急係長西一樹様にご講演頂きました。第3部は「高齢者の救急事例の対応について」グループワークを行い、熱心な意見交換を行って頂きました。その中で、「救急車を呼んでも良いのか迷ってしまう」とのご意見に対し、「なんかおかしいと思ったらすぐに119番に連絡をしてください。電話で対応を助言できます」との回答を頂きました。100名の方にご参加頂きました。



玄関



9月1日よりさつま町民生部門が変更されました。玄関を入ってすぐの場所に高齢者支援課の窓口があります。

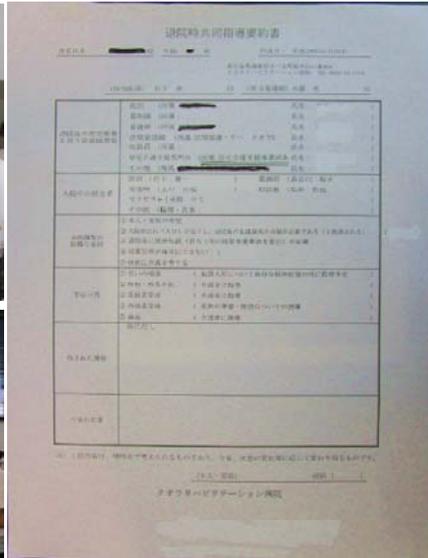


裏面もお読み下さい

退院時共同指導カンファレンスが開催されました(7/24)



病院スタッフ



在宅支援スタッフ

クオラリハビリテーション病院に於いて退院時共同指導カンファレンスが開催されました。入院医療担当者として、主治医、薬剤師、看護師、相談員、PTが出席、在宅療養担当者として医師、看護師、薬剤師、訪問看護師、居宅ケアマネ、施設ケアマネが出席されました。事前に院内スタッフでの打合せが行われ、当日は写真の「退院時共同指導要約書」の他、診療情報提供書、看護情報提供書、患者情報提供書、リハビリテーション情報提供書により情報提供されていました。「今後の課題」の「支援計画」について話し合われました。在宅療養担当医師から「これまで不明確であった課題について情報交換が出来てよかった」とのご意見が聞かれました。

在宅訪問歯科診療に同行取材させて頂きました。



レントゲン写真も撮れます。



丁寧な説明が行われています。



治療の機械も診療所並に充実しています。

8月3日と8月17日に、祁答院町の介護老人福祉施設おおむら園とつきみ園へ福岡歯科医院の在宅訪問歯科診療が行われた際同行取材をさせて頂きましたので、ご紹介致します。レントゲン撮影、抜歯、虫歯治療、口腔ケア(摂食機能訓練)、義歯調整等あらゆる治療が、訪問先でも可能となっています。17日は4人の患者さまに処置を行われました。まだまだたくさんのお写真をご紹介できればよかったのですが、また機会を設けたいと思います。

平成29年度 第3回 多職種研修会(7/31)



平成29年度第3回多職種研修会、「足のトラブルの真の原因と解決方法」の第2回目の研修会を開催いたしました。「爪切り講座基礎編」の講義と安全なニッパーの使い方の実技についてフットケア熊本(支援活動チーム)の竹永志保氏に研修して頂きました。ビニール袋を使用したパル足浴や爪の観察のポイント、ニッパーを用いた爪の切り方についての基礎を教えて頂きました。ニッパーの使い方は、見ると実際行ってみるでは大違いでなかなかコツをつかむまでに時間がかかりました。50名の方にご参加頂き、熱心にまた楽しく研修して頂きました。

□ 今後の予定 □

- ・9/12(火)在宅医と後方支援病院医師との意見交換会(薩摩郡医師会病院)
- ・9/21(木)在宅医療推進コーディネーター会議(鹿児島県医師会館)
- ・9/28(木)事例検討会(マモリエ地域交流室)
- ・10/12 多職種研修会
- ・10/24 作業部会

